

低気圧の通過に対する農作物等管理技術対策について

平成30年3月8日
埼玉県農林部

平成30年3月8日6時20分熊谷地方气象台発表の「大雨と雷及び突風に関する埼玉県気象情報」によると、低気圧や前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込むため、3月9日（金）未明から明け方にかけて1時間に30ミリの激しい雨や竜巻などの激しい突風、降ひょうが予想されています。

技術対策資料を以下のとおり作成しましたので、参考としてください。
なお、今後の天気予報には十分に注意して下さい。

園芸用ハウス

- 1 園芸用ハウスでは、支柱、支線、ターンバックル、ビニルの破れなどを点検・補修し、必要に応じて筋交いを入れるなどして補強する。
また、周囲に風で飛散する物がないように整理する。
- 2 特に、積雪で損壊していないハウスであっても、谷部分の被覆資材のゆるみやゆがみで強度不足になり、損壊しやすくなっている可能性があるため、入念に点検する。
- 3 直前対策
 - ・ 出入口、天窓、サイドをしっかり固定し、隙間からの風の吹込みを防ぐ。
 - ・ 換気扇をまわしてハウス内部を負圧にし、被覆材のバタつきを防ぐ。

露地野菜

- 1 ベたがけ栽培やトンネル栽培では、被覆資材が強風であおられないよう点検・補強するとともに、被覆資材のすそを土中に埋めるなどの対策を講じる。
- 2 低気圧の通過後、強風や降ひょうによる葉の損傷等が見られた場合には、速やかに薬剤防除を行う。

◎農薬はラベルに記載されている適用作物、使用時期、使用方法等を十分確認の上、最終有効年月までに使用してください。

◎農薬の使用に際しては、以下のホームページで御確認ください。

●農産物安全課

<http://www.pref.saitama.lg.jp/a0907/nb/arfdnouyakutourokuhenkou.html>

●独立行政法人農林水産消費安全技術センターホームページ内の農薬登録情報提供システム

<http://www.famic.go.jp/>